

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年2月10日

事業所名 ぴっころ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・日々のカンファレンスを通して、可能な限り全員が参加できるように打ち合わせの時間帯の工夫をしている ・打ち合わせの中で、問題提起、解決への取り組みを行なっている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		基本的に行なっているが、コロナ禍で減少している	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		半年に一度、保護者との面談を行ない、必要であれば支援目標を立て直している	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		日々話し合いの中で、メンバー全員で行なっている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		行なっている。特に長期休暇については、数ヶ月前から話し合いを重ね、準備をしている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		日々、打ち合わせを行い、お子さんの支援目標、スタッフの役割を決め、職員間での共通理解を深めている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・時間の都合上難しく、翌日の支援開始前の打ち合わせで補えるよう努めている ・不在のスタッフには後日内容を伝え、職員間での共通理解を深め、翌日の支援に生かしている	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年ごとに行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		ほぼ行なっている。ただコロナ禍で地域交流の機会の提供は、制限されている	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		必要に応じて行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		保護者より緊急時の対応を確認し、搬送先、主治医などを事前にお聞きしている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		通っている園などに、お子さんの毎日の様子、特性などを聞き、共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		必要に応じて研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		コロナ禍の状況を見ながら、取り組んでいきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		会議での議事録などを回覧し、スタッフ全員に周知している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎の際に保護者に施設での様子を伝えたり、連絡帳などで情報共有を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に必ず不明な点等がないよう確認を取りながら、説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		コロナ禍で殆ど中止になったが、基本的には実施している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		可能な限り、適切な対応を迅速に行なっている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		定期的に発行している	

等	35	個人情報に十分注意している	6		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	例年、年末のクリスマス会に、地域の方や利用者の家族全員を招待しているが、このコロナ禍で難しい。落ち着けば、再開したい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		各マニュアルに関しては、保護者にしっかりと周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	消防署から消火器を借りるなどして、実際に消火訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	コロナ禍で機会がなかったが、基本的には行なっている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		現在、対象者はいないが、契約時には、十分説明させて頂いている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		該当する利用者はいないが、利用があった場合、対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	ヒヤリハット事例が起きた場合、スタッフ全員に報告し、対策を話し合っている	